

令和8年度

旧白石市老人福祉センター解体工事監理業務

白石市

令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事監理業務

## 委託仕様書

令和8年度

白石市

## 第1章 総則

### 1. 業務委託の名称

令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事監理業務

### 2. 業務委託の目的

本業務は白石市（以下「発注者」という。）が実施する、令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事（以下「本工事」という。）に際して、発注者監督員（以下「監督員」という。）を補佐し、本工事が施工の過程において適切に実施され、円滑に完了するように、工程及び安全管理等の施工監理業務を行うこととする。

### 3. 業務委託の箇所

白石市福岡蔵本字薬師堂23番地

### 4. 業務委託の期間

契約締結日の翌日から令和9年3月26日まで

（令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事の工事期間は約6か月と想定）

### 5. 用語の定義

本仕様において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- （1）「立会」とは、契約図書に示された事項において、臨場して内容を確認することをいう。
- （2）「確認」とは、契約図書に示された事項において、臨場もしくは関係資料により、その内容について契約図書との適合を確かめることを言う。
- （3）「指示」とは、監督員と協議の上、本工事の受注者（以下「工事受注者」という。）に対して、義務上必要な事項について実施させることを言う。
- （4）「報告」とは、発注者に対し、業務の状況又は結果について書面をもって知らせることを言う。

### 6. 適用範囲

本仕様書は、発注者が実施する「令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事監理業務」に適用するものである。また本仕様書は、業務の履行に当たっての基本的内容について定めるものであり、本業務受注者（以下「受注者」という。）は本

仕様書に定めのない事項であっても、業務履行上必要と思われるものについては、発注者と協議の上、受注者の責任において全て完備しなければならない。

なお、本仕様書に記載のない事項は、宮城県土木部営繕課「宮城県建築工事監理業務委託共通仕様書」の最新年度版による。

## 7. 法令等の遵守

受注者は、本業務の実施にあたり、関係する法令、政令、省令、条例、規則、細則、通知等を遵守して業務を実施しなければならない。

## 8. 疑義の解決

受注者は、本仕様書の内容及び本仕様書に定めのない事項について疑義があるとき、あるいは本業務の履行中に疑義が生じた場合は、速やかに発注者と協議を行い、発注者の意図を十分理解するよう努めるものとし、業務等に支障が生じないようにしなければならない。

## 9. 中立性の確保と秘密保持

受注者は中立性を確保するとともに、本業務の履行上知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

## 10. 関係機関や近隣住民との協議等

受注者は、関係機関との協議を必要とするとき又は協議を求められた場合は、誠意をもって対応し、この内容を遅延なく発注者に報告しなければならない。

また、発注者が関係機関や近隣住民との協議、委員会、説明会等の開催を必要とする場合、受注者は誠意をもって助言や資料作成の支援を行わなければならない。

## 11. 業務内容の変更等

本仕様書の内容についての変更は認めないものとする。ただし、発注者が必要と判断した場合、発注者と受注者との協議により、業務内容を変更する場合は、この限りではない。

また、成果品の中に本仕様書に適合しない箇所が発見された場合は、改善、変更、追加等を受注者の負担において行うものとする。

## 12. 技術者

受注者は本業務の履行にあたり、下記に掲げる要件を満たす技術者を配置すること。

#### 管理技術者

- ・直接雇用関係が3ヶ月以上の者であること。
- ・建築士法で定める一級建築士または一級建築施工管理技士の資格を有する者であること。

### 1 3. 関係官公庁等の手続き、協議

(1) 受注者は、関係法令に基づき、発注者が関係する官公庁へ提出を要する届出書類を作成し、当該関係する官公庁へ提出しなければならない。

(2) 受注者は、関係する官公庁との協議を必要とする場合、あるいは協議を求められた場合は、誠意をもってその対応を行うものとする。

### 1 4. 技術者の交代

管理技術者は原則として変更できないものとする。ただし、病休、死亡、退職等のやむを得ない理由により変更する場合には、変更理由書及び新たに配置する技術者が該当する資格要件を満たすことを証明する書類を発注者に提出し、承諾を受けること。

### 1 5. 議事録の提出

受注者は、打合せ及び協議の都度、その内容に係る議事録を作成し、発注者に提出しなければならない。

### 1 6. 資料の貸与

本業務の履行上、必要な資料の収集、調査、検討等は原則として受注者が行うものであるが、発注者が所有し、貸出し可能な資料等はこれを貸与する。借り受ける場合は、そのリストを作成の上、発注者に提出し、業務の完了とともに返却すること。

### 1 7. 成果品の検査と納品

受注者は業務完了に際し、速やかに業務完了報告書及び本仕様書に指定された提出図書一式を提出して、発注者検査員による業務完了検査を受けなければならない。検査合格後、成果品引渡書の提出をもって本業務の完了とする。

ただし、業務完了後があっても、誤り及び記載漏れ等の不備が発見された場合や、関係機関からの資料提出又は内容修正等の依頼があった場合は、速やかに対応することとする。

### 1 8. 手続書類の提出

受注者は業務の着手に際し、次の書類を提出すること。

- (1) 委託契約書に定める書類
- (2) 業務着手届
- (3) 業務工程表
- (4) 管理技術者、照査技術者通知書（自社の社員であることが確認できる書類及び資格証の写しを添付）

#### 19. 成果品等

- |                |    |
|----------------|----|
| ・業務完了報告書       | 2部 |
| ・業務計画書         | 2部 |
| ・業務報告書         | 2部 |
| ・打合せ議事録        | 2部 |
| ・立会検査報告書       | 2部 |
| ・その他必要と認められるもの | 2部 |

## 第2章 業務内容

受注者は、本工事に係る施工図書を審査する。また、工事の施工に対して、確認・指導等を行うとともに、現場での立会、工程の管理等を行う。

業務に当たっては、目的を十分に理解した上で良心的かつ技術的に遂行し、必要に応じて発注者と協議を行い、発注者の指示を受けるものとする。

### 1. 本工事対象施設の概要

所在地	白石市福岡蔵本字薬師堂23番地
建物用途	老人福祉センター
構造	本館 R C造地上2階 延べ面積798.59㎡ 宿泊棟 木造地上1階 延べ面積162.43㎡
延床面積	940.19㎡
敷地面積	5,257.11㎡

### 2. 業務の内容

#### (1) 発注仕様書の意図を工事受注者に正確に伝える業務

工事受注者との打合せを十分に行い、施工計画等の検討・助言及び指導を行う。

#### (2) 労働基準監督署への届出書等の確認業務

工事受注者との打合せを十分に行い、解体工事計画届出書等の助言・指導及び確認を行う

#### (3) 現場管理業務

受注者は、本工事が発注図書のとおり施工されているか監視し、必要に応じて会議を実施し情報共有を図ること。また、工事の進捗状況に合わせ、現場にて工事監理を行うこと。

#### (4) 施工図書の審査・確認

①施工図及び施工計画書の審査。

②使用建設重機等の確認

#### (5) 工事の確認及び報告業務

①工事内容の建築物解体工事共通仕様書等への適合性に係る確認及び報告。

②工事の進捗状況、管理状況の確認及び報告。

③工事の進捗に応じた施工立会。

(6) 工事完成に伴う業務

①完成に伴う確認、審査、報告及び検査立会。

②完成に伴う工事記録等書類の確認、審査及び指導。

③完成図書等の確認及び審査。

参 考 明 細

令 和 8 年 度

令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事監理業務

仕 様 書

白 石 市

積算総括表

業務委託名	令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事監理業務		
業務場所	白石市福岡蔵本字薬師堂23番地		
設計額	金 円也		
項目	名称	金額	摘要
	監理業務		
	合計		
	消費税		
	総合計		





## 参 考 資 料

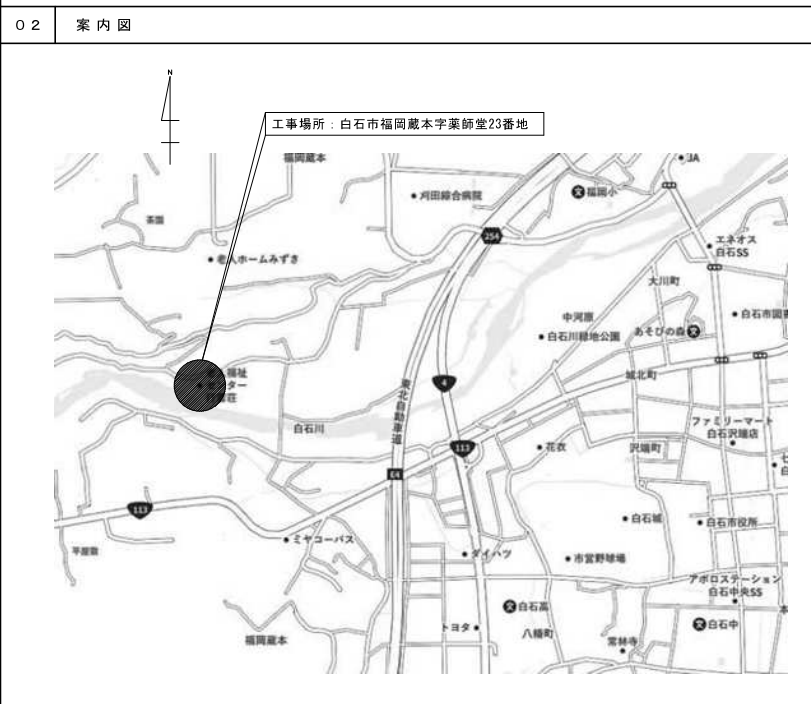
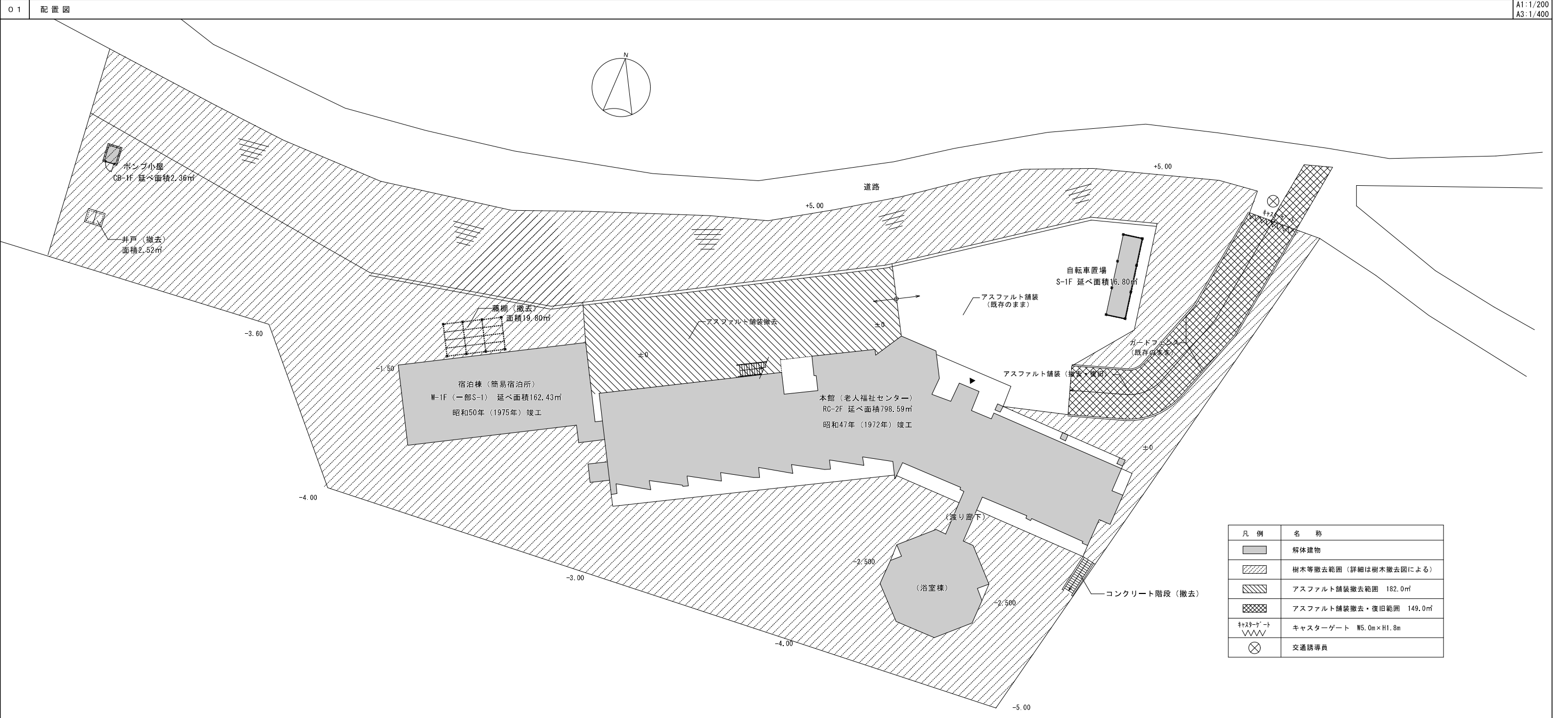
参考資料は、設計図書ではなく、設計図書のほかに発注者の標準的な考え方としての資料に過ぎず、入札参加者等への適正・迅速な業務費の見積に供するものである。







6 ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 除 去	①. 石綿含有建材の除去工事	<p>施工調査 [1.4.1]</p> <p>※石綿含有建材の事前調査          工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。          調査範囲（※施工範囲全て 図示）          貸与資料（白石市老人福祉センター建設工事 設計図）</p> <p>・分析による石綿含有建材の調査          分析対象          アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト          分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th colspan="2">JIS A 1481 または JIS A 1481-2</th> <th colspan="2">JIS A1481-3または JIS A 1481-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>・</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>・</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>箇所</td> <td>・</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル          採取箇所 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 [6.1.3]&lt;9.1.1&gt;          測定点 測定時期、場所及び測定箇所数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td rowspan="4">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口（処理作業室の場合）</td> <td>出口吹出し風速 1m/sec以下の位置</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後（シート養生中）</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法          ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td rowspan="2">粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定 4</td> <td rowspan="2">25</td> <td rowspan="2">5</td> <td rowspan="2">30</td> </tr> <tr> <td>・測定 5</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>25</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 [6.3.1~4]&lt;9.1.3&gt;          ・石綿含有吹き付け材（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む）の除去          除去対象範囲          ・図示による          除去工法          ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による          ・          除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置          ※湿潤化 ・固形化          除去した石綿含有吹き付け材等の処分          ・埋立処分(管理型最終処分場)          ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>[6.4.1~4]&lt;9.1.4&gt;          ◎石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去          除去対象範囲          ・図示による          除去工法          ※手ばらし          除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置          ※湿潤化 ・固形化          除去した石綿含有保温材等の処分          ・埋立処分(管理型最終処分場)          ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481 または JIS A 1481-2		JIS A1481-3または JIS A 1481-4		・	・	箇所	・	箇所	・	・	箇所	・	箇所	・	・	箇所	・	箇所	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点	・	測定2	調査対象室外部の付近	・計 点	・	測定3	処理作業室内	・計 点	・	測定4	セキュリティゾーン入口	・計 点	・	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口（処理作業室の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置	・	測定6	処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点	・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計 点	・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点	・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点	測定名称	測定方法	・測定 4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定 5	測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	・測定 4	25	5	30	・測定 5	・測定	25	10	120	・測定	47	10	240	・測定				<p>[6.5.1~4]&lt;9.1.5&gt;          ・石綿含有けい酸カルシウム板第一種の切断、破砕等による除去          除去対象範囲          ・図示による          隔離養生（負担不要）方法          ・図示による          足場          ・図示による          除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分          ・埋立処分(安定型最終処分場)          ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>[6.5.1~4]&lt;9.1.5&gt;          ◎石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第一種の手ばらしによる除去を含む。）          除去対象範囲          ◎図示による          除去した石綿含有成形板の処分          ・石綿含有せっこうボード          ※埋立処分(管理型最終処分場)          ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板          ◎埋立処分(安定型最終処分場)          ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>[6.6.1~4]&lt;9.1.6&gt;          ◎石綿含有仕上塗材又は下地調整材の除去          除去対象範囲          ◎図示による          除去工法          ◎サンダーケレン工法          養生方法          ◎隔離養生          除去した石綿含有仕上塗材の処分          ◎埋立処分(安定型最終処分場)          ・埋立処分(管理型最終処分場)          ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p>					
		材 料 名		定性分析方法		定量分析方法																																																																																																		
JIS A 1481 または JIS A 1481-2			JIS A1481-3または JIS A 1481-4																																																																																																					
・	・	箇所	・	箇所																																																																																																				
・	・	箇所	・	箇所																																																																																																				
・	・	箇所	・	箇所																																																																																																				
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																																																																																																				
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点																																																																																																				
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																				
・	測定3		処理作業室内	・計 点																																																																																																				
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 点																																																																																																				
・	測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口（処理作業室の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置																																																																																																				
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点																																																																																																				
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計 点																																																																																																				
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点																																																																																																				
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																				
測定名称	測定方法																																																																																																							
・測定 4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																							
・測定 5																																																																																																								
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																					
・測定 4	25	5	30																																																																																																					
・測定 5																																																																																																								
・測定	25	10	120																																																																																																					
・測定	47	10	240																																																																																																					
・測定																																																																																																								



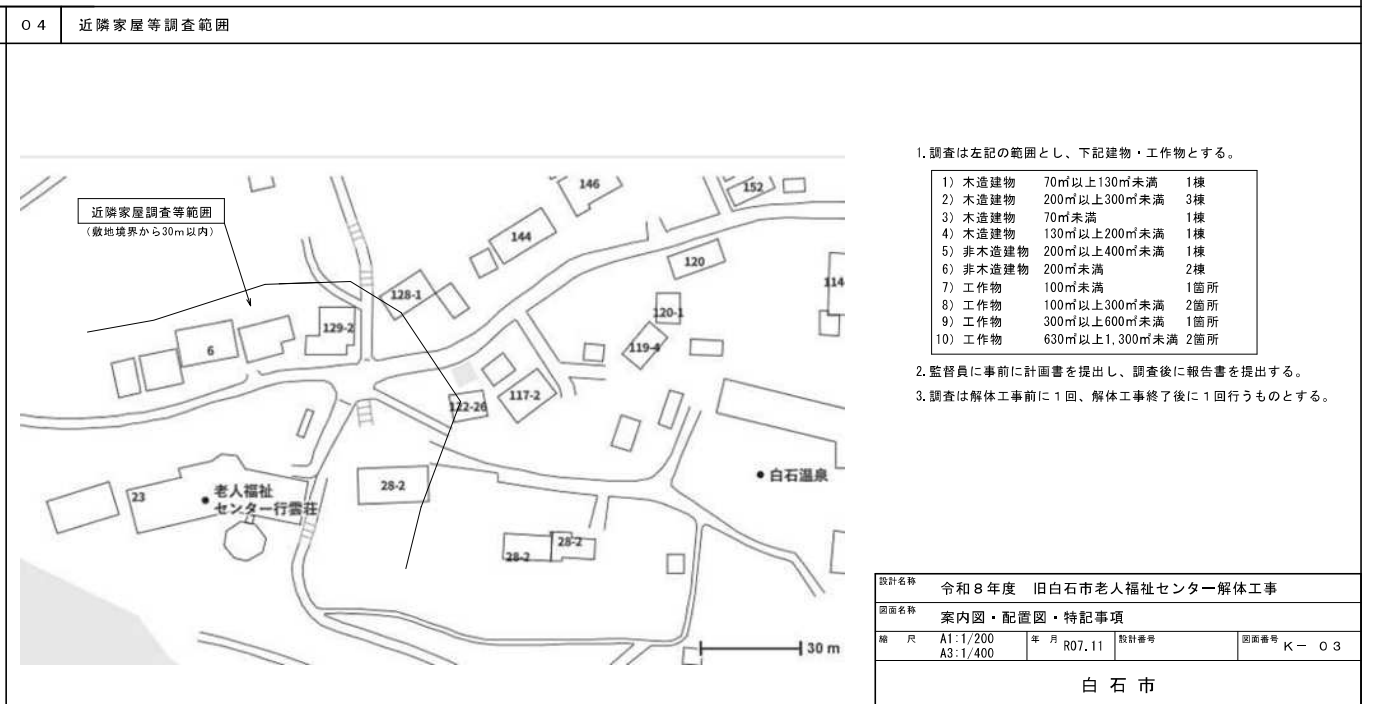
03 特記事項

- 解体工事着手に先立ち近隣家屋調査を行い近隣への配慮・理解を得るように努めること。
- 工事着手に先立ち、仮設計画図を作成し監督職員の確認を受けるものとする。
- 養生足場、防音シート(高さ 解体建物+1.0m)を解体建物廻りに設置する。
- 交通誘導員(1人)を常駐させること。
- 電気、ガス、水道、電話、下水道等については、請負者が各担当局に手続きをし撤去する。
- 解体作業は、低騒音・低振動工法により施工すること。
- 解体工事に先立ち、石綿(アスベスト)含有建材の事前調査を行い、報告書を提出すること。
- 石綿(アスベスト)含有建材の事前調査報告書により下記建材に含有が確認されている。

建物	部位	建材名
本館	外部	外壁・軒天：リシン吹付(下地調整材に含有)、サッシ廻り：シーリング
	内部	床：ビニル床タイル、天井：石綿セメント板
宿泊棟	外部	サッシ廻り：シーリング、軒天：大平板
	内部	壁：石綿セメント板、壁：ハルセメント板
浴室棟	設備	配管：シートパッキン、配管：エルボ保温材

※上記のアスベスト含有建材撤去については、関係法令に従って解体撤去を行うこと。  
また、撤去費用および処理費用を見込むこと。

- 解体に係る関係法令の申請業務は、本工事に含むものとする。
- 建物等に付帯する設備機器、配線、ダクト類及び外構廻りの配管、樹木の撤去は全て本工事に含むものとする。
- 「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」に基づき分別解体等を行うこと。
- コンクリートガラ、鉄筋、木材、建設廃材等は、関係法令に基づき処理すること。
- 建物基礎等撤去により生じた凹凸は周辺土(内部盛土)により整地を行うこと。
- 周囲に影響の多い作業にかかる場合は、事前に近隣住民に連絡し、かつ作業前に周知させること。



I 工事概要	1 工事場所	白石市 福園 蔵本空襲犠牲者追悼施設内	左 官 工 事	1. セメントの種類	普通ポルトランドセメント	各部13mm 4代シリシ、スライム	
	2 工事種目	鉄筋コンクリート壁工 新築一棟 延床面積 799.09㎡		2. 粗骨材	砂利		
II 建築仕様	特記仕様	図面および特記仕様に記載された仕様はすべて昭和44年度建設省管轄局「建築工事仕様書」に準じ、但し図面と仕様書に相違が生じた場合、又は明記なき場合はすべて監督官の指示に準じ、なお既設工事変更は申請者負担のこと	不 装 置 工 事	3. 表面処理剤	AE剤、ウレタン、ケレンス、(養生を除外して使用する)	1 普通合板の種類	OPFC 合板 (図面が示すものに準ずる箇所はSFC II の他 II)
	特記仕様	項目 特記事項		4. 設計基準強度	FC 180 kg/cm <sup>2</sup>		5. レチキアストコンクリート
III 仕様	1 適用規程	日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算基準」(同解説)に準じ、 2 建築材料検査、建築材料のメーカー商品規格等は特記されたものを、又は同規格品に準じ、各下請業者、各取組別下請業者名簿、メーカー一覧表を提出すること	鋼 筋 工 事	6. 鉄筋コンクリート (各種)		1 ムーラー	昭和アルミ、又は日本アルミと同等のものを、必要に応じて
	2 特記仕様の注	建築工事仕様書に記載されている、特別仕様の注は、 3. 特別仕様の注は、建築工事仕様書に記載されている、特別仕様の注は、 4. 現場で施工するに備え、設計図書、工事契約書の準じ、現場説明書、調査書、 5. 工事費		7. 粗骨材の大きさ	コンクリート断面の1/4以下かつ40mm以下とする、但し、 コンクリートの場合は25mm以下とする		2 表面処理
IV 仕様	6. 工事費	工費目録、工事進捗状況を示す工程表を提出すること	組 積 工 事	8. 防水層の施工	防水層の最大寸法は25mm以下とする	1 鋼筋の種類	丸鋼筋 13以下、SR24規格相当品 異形鋼筋 16以上 SR30 規格品
	7. 竣工検査	検査に合格するまで10日前までに竣工検査報告を提出し受け付けること		9. でき板及び緊縮板	A種 合板使用の場合は材種ラワンI種とする B 工間コンクリート 0.217/m <sup>2</sup> 配り工法による		2 鋼筋の種類
V 仕様	8. 色彩等の決定	設計図書に示すものとする	防 水 工 事	10. 防水層の施工	防水層の施工場所及び種別 モルタル防水、コンクリート防水工法による	1 鋼筋の種類	丸鋼筋 13以下、SR24規格相当品 異形鋼筋 16以上 SR30 規格品
	9. 設備工事の取合	埋込型灯、配管用スリーブ等補強の必要箇所は、指示に準じ補強すること		11. 防水層の施工	防水層の施工場所及び種別 モルタル防水、コンクリート防水工法による		2 鋼筋の種類
VI 仕様	10. 設計図	監督官が現場指示する	内 装 工 事	12. 危険防止の措置	図面が示すものとする	1 鋼筋の種類	丸鋼筋 13以下、SR24規格相当品 異形鋼筋 16以上 SR30 規格品
	11. 監督官の手続	手続はすべて完了すること		1. 床材の種類	床材の種類		2. 鋼筋の種類
VII 仕様	1. 指示板	並行線幅 450 - 1500 程度に工事名、発注者名、設計事務所名、 施工者名を記入する。但し、色字は設計事務所が指示する。	タ イ ル 工 事	2. 鋼筋の種類	鋼筋の種類	1 鋼筋の種類	丸鋼筋 13以下、SR24規格相当品 異形鋼筋 16以上 SR30 規格品
	2. 工事費	工事進捗状況を示す工程表を提出すること		3. 鋼筋の種類	鋼筋の種類		2. 鋼筋の種類
VIII 仕様	1. 竣工	竣工後、現場利用可	工 事	4. ムーラー	伊奈	1 鋼筋の種類	丸鋼筋 13以下、SR24規格相当品 異形鋼筋 16以上 SR30 規格品
	2. 竣工検査	検査に合格するまで10日前までに竣工検査報告を提出し受け付けること		5. 鋼筋の種類	鋼筋の種類		2. 鋼筋の種類
IX 仕様	1. 地盤工事	土工、根伐工利用可	工 事	6. 鋼筋の種類	鋼筋の種類	1 鋼筋の種類	丸鋼筋 13以下、SR24規格相当品 異形鋼筋 16以上 SR30 規格品
	2. 竣工検査	検査に合格するまで10日前までに竣工検査報告を提出し受け付けること		7. 鋼筋の種類	鋼筋の種類		2. 鋼筋の種類
X 仕様	1. 地盤工事	土工、根伐工利用可	工 事	8. 鋼筋の種類	鋼筋の種類	1 鋼筋の種類	丸鋼筋 13以下、SR24規格相当品 異形鋼筋 16以上 SR30 規格品
	2. 竣工検査	検査に合格するまで10日前までに竣工検査報告を提出し受け付けること		9. 鋼筋の種類	鋼筋の種類		2. 鋼筋の種類
XI 仕様	1. 地盤工事	土工、根伐工利用可	工 事	10. 鋼筋の種類	鋼筋の種類	1 鋼筋の種類	丸鋼筋 13以下、SR24規格相当品 異形鋼筋 16以上 SR30 規格品
	2. 竣工検査	検査に合格するまで10日前までに竣工検査報告を提出し受け付けること		11. 鋼筋の種類	鋼筋の種類		2. 鋼筋の種類
XII 仕様	1. 地盤工事	土工、根伐工利用可	工 事	12. 鋼筋の種類	鋼筋の種類	1 鋼筋の種類	丸鋼筋 13以下、SR24規格相当品 異形鋼筋 16以上 SR30 規格品
	2. 竣工検査	検査に合格するまで10日前までに竣工検査報告を提出し受け付けること		13. 鋼筋の種類	鋼筋の種類		2. 鋼筋の種類

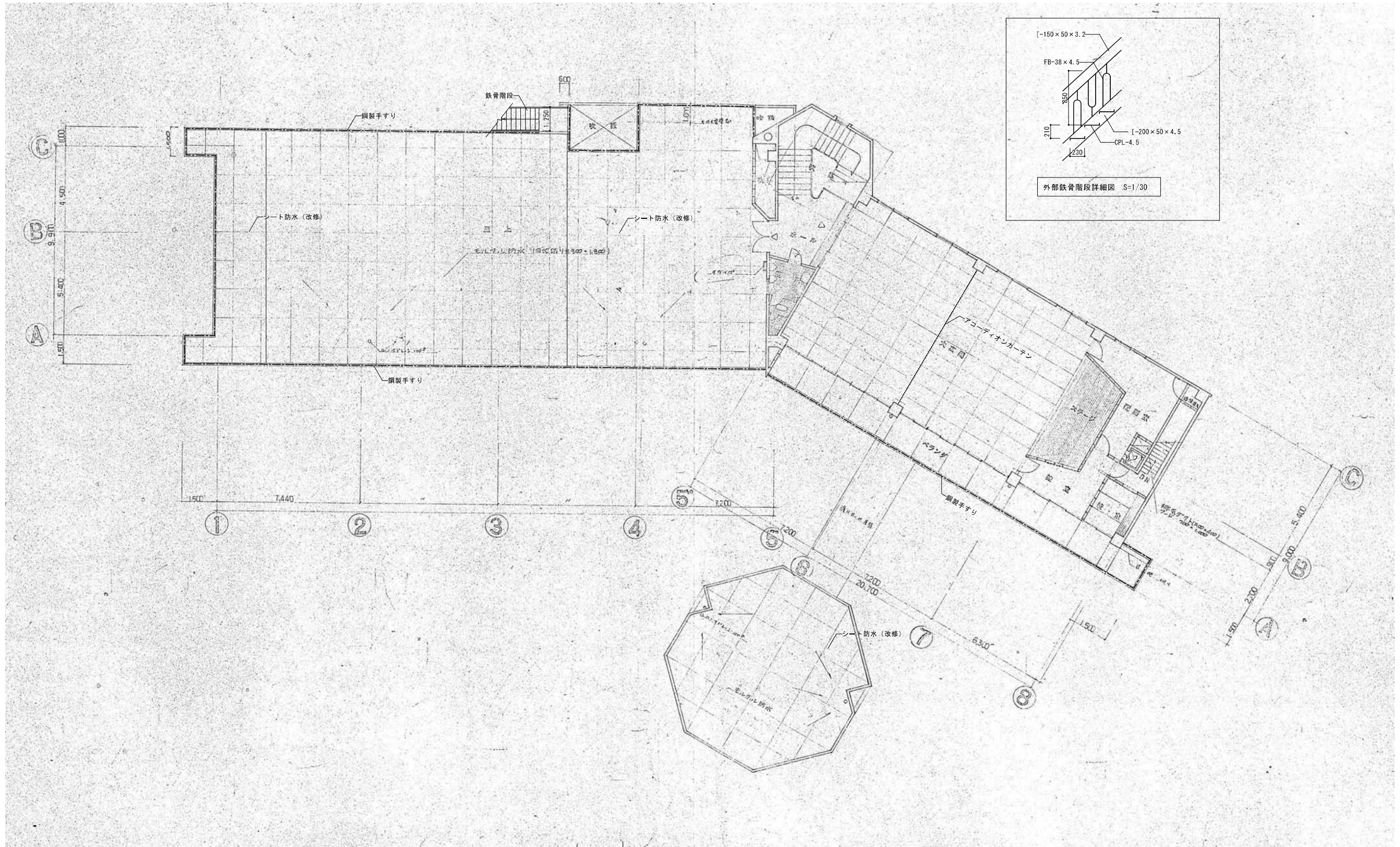
凡例  
 内の建材は、石綿(アスベスト)含有建材を示す。

外部仕上表														
区分	壁	窓	屋根	床	天井	床	天井	床	天井	床	天井	その他	備考	
本館	モルタル刮毛引	1130吹付	70シート打	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	モルタル刮毛引	モルタル刮毛引
階下	モルタル刮毛引	1130吹付	70シート打	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	モルタル刮毛引	
浴室	モルタル刮毛引	1130吹付	70シート打	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	1130吹付	モルタル刮毛引	モルタル刮毛引	

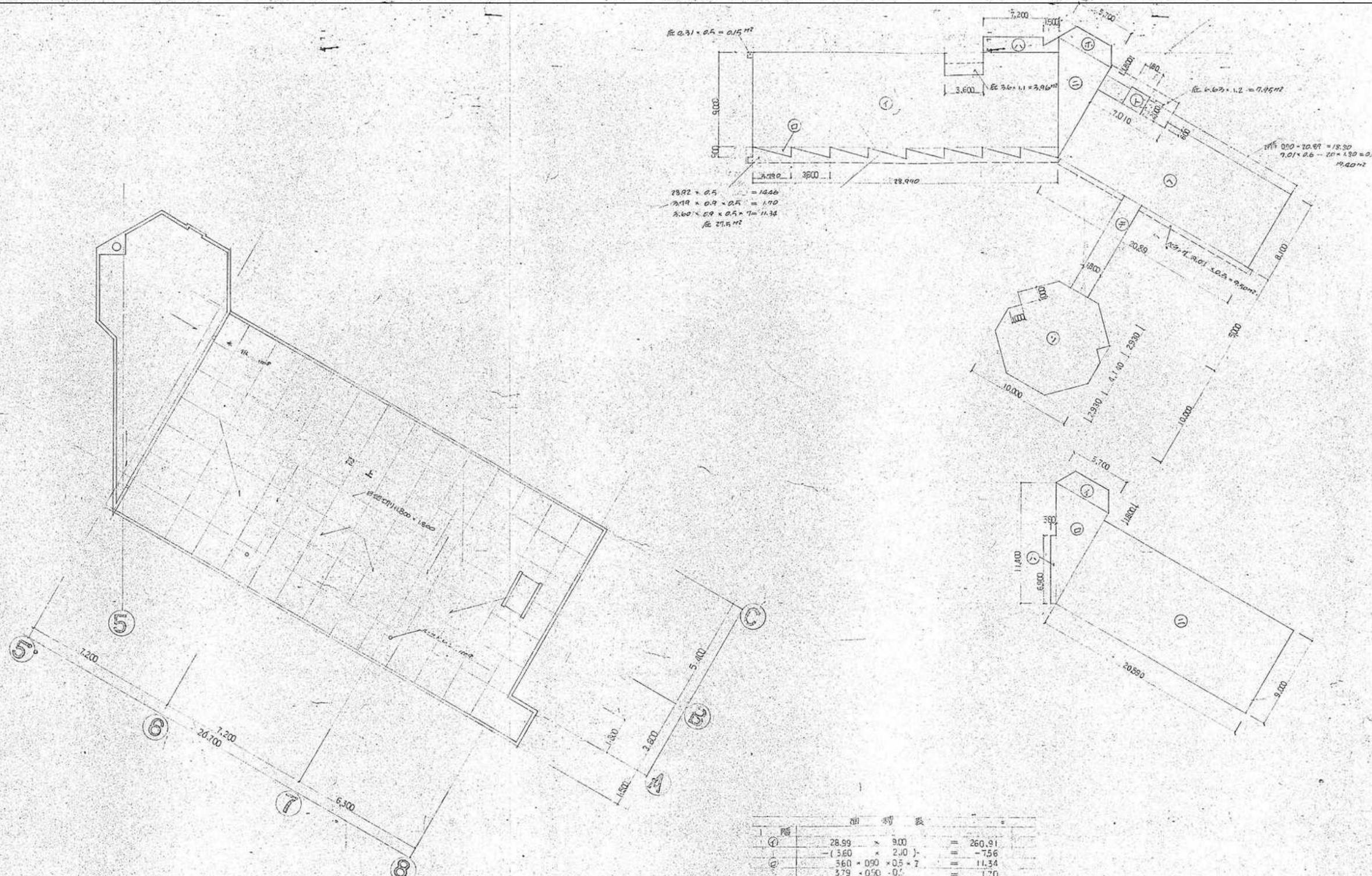
内部仕上表													
区分	室名	床	天井	巾木	壁	天井	床	天井	床	天井	床	天井	備考
1	玄関	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	0
	ホール	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	廊下	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	居室	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	浴室	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	洗面	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	トイレ	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	更衣	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	洗濯	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	収納	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	廊下	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	居室	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	浴室	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	洗面	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
	2	ホール	タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード
大広間		タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
ステージ		タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
控室		タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
控室		タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
控室		タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
控室		タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
控室		タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
控室		タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	
控室		タイル	石膏ボード	モルタル	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	モルタル	石膏ボード	

凡例  
 内の建材は、石綿（アスベスト）含有建材を示す。



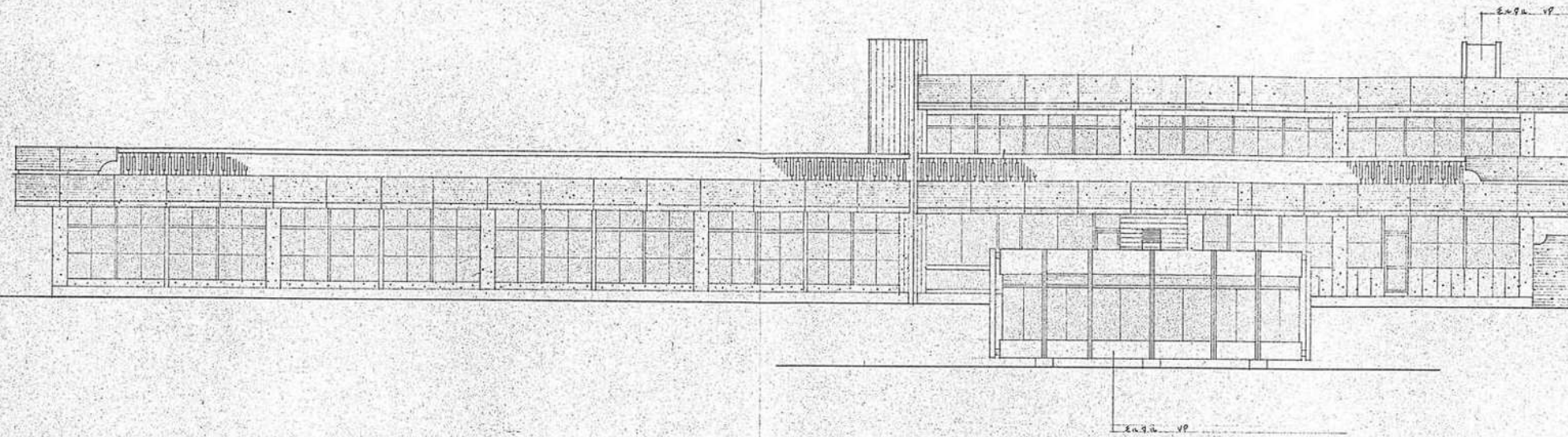


設計名称	令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事		
図面名称	(本館) 2階平面図		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	年月	R07.11
設計番号		図面番号	K-07
白石市			

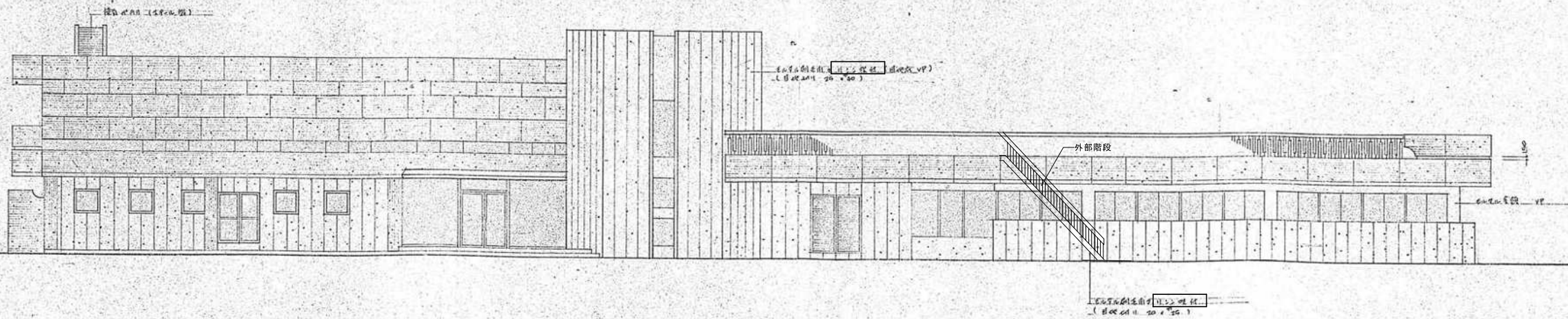


$28.92 \times 0.5 = 14.46$   
 $3.60 \times 0.9 = 3.24$   
 $3.60 \times 0.9 \times 0.5 = 1.62$   
 $27.5 \text{ m}^2$   
 $0.31 \times 0.5 = 0.15 \text{ m}^2$   
 $3.60 \times 1.1 = 3.96 \text{ m}^2$   
 $2.67 \times 1.2 = 3.20 \text{ m}^2$   
 $0.50 \times 20.89 = 10.445$   
 $7.01 \times 0.6 = 4.206$   
 $14.651 \text{ m}^2$

階	種	面積	合計
1	①	$28.99 \times 9.00$	260.91
	②	$-(3.60 \times 2.0)$	-7.56
	③	$3.60 \times 0.90 \times 0.5 \times 7$	11.34
	④	$3.79 \times 0.50 \times 0.5$	0.95
	⑤	$7.20 \times 1.50$	10.80
	⑥	$-(1.51 \times 0.86 \times 0.5)$	-0.64
	⑦	$5.7 \times 9.86 \times 0.5$	28.10
	⑧	$5.7 \times 1.80$	10.26
	⑨	$-(1.04 \times 1.80)$	-1.87
	⑩	$20.89 \times 9.10$	189.20
	⑪	$-(7.01 \times 0.60)$	-4.20
	⑫	$1.80 \times 2.00$	3.60
	⑬	$5.00 \times 1.80$	9.00
	⑭	$10.00 \times 10.00$	100.00
	⑮	$-(2.93 \times 2.93 \times 2 + 1.0 \times 2)$	-19.17
	1階		571.47 m <sup>2</sup>
2	⑯	$5.70 \times 1.80$	10.26
	⑰	$-(1.04 \times 1.80)$	-1.87
	⑱	$5.70 \times 9.86 \times 0.5$	28.10
	⑲	$5.00 \times 0.36$	1.80
	⑳	$20.89 \times 9.00$	188.01
	2階		227.12 m <sup>2</sup>
合計			798.59 m <sup>2</sup>
延床面積			639.99 m <sup>2</sup>



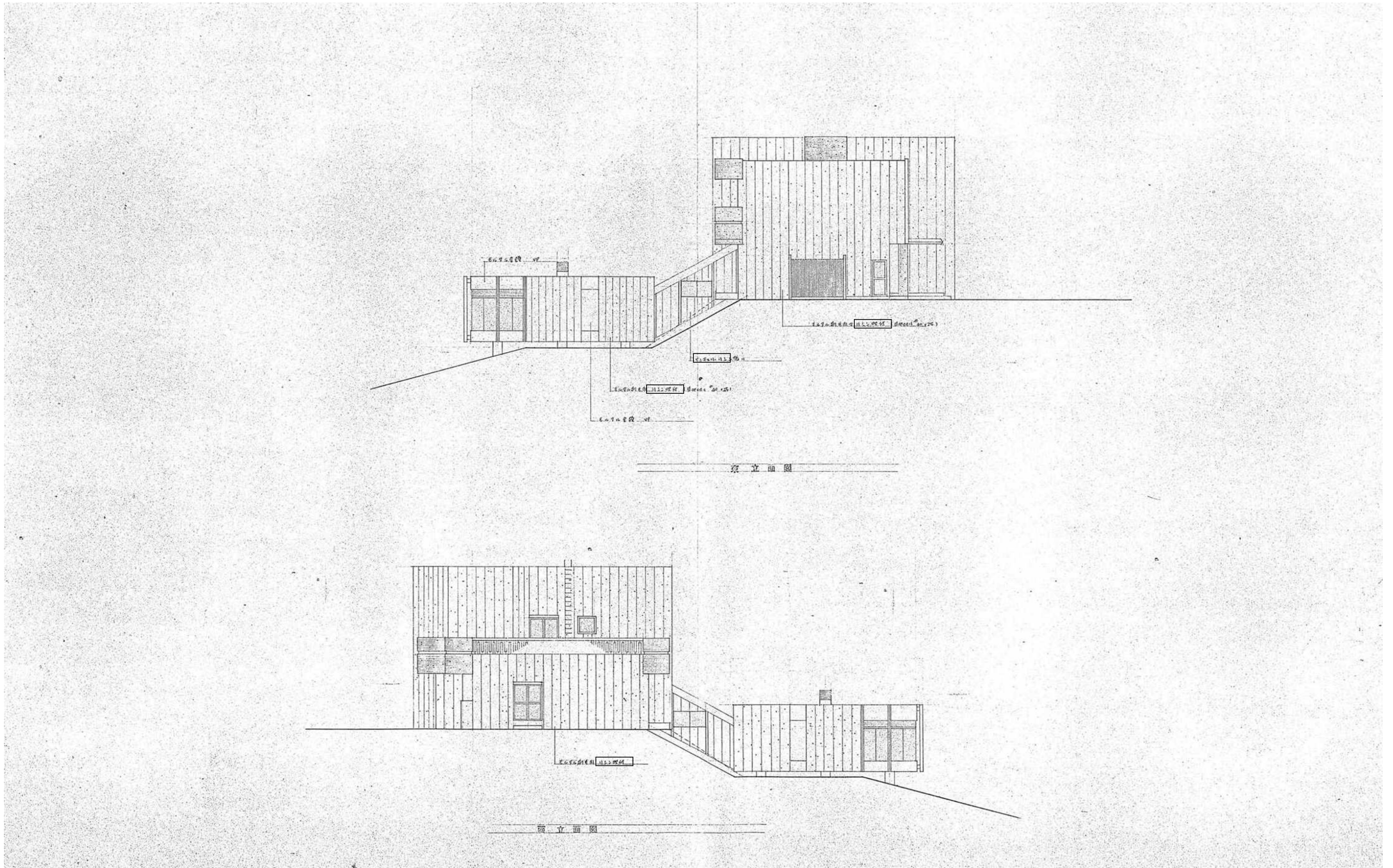
南立面図



北立面図

凡例  
 □ 内の建材は、石綿（アスベスト）含有建材を示す。

設計名称	令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事		
図面名称	(本館) 南・北立面図		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	年月	R07.11
設計番号		図面番号	K-09
白石市			



凡例  
 □ 内の建材は、石綿（アスベスト）含有建材を示す。

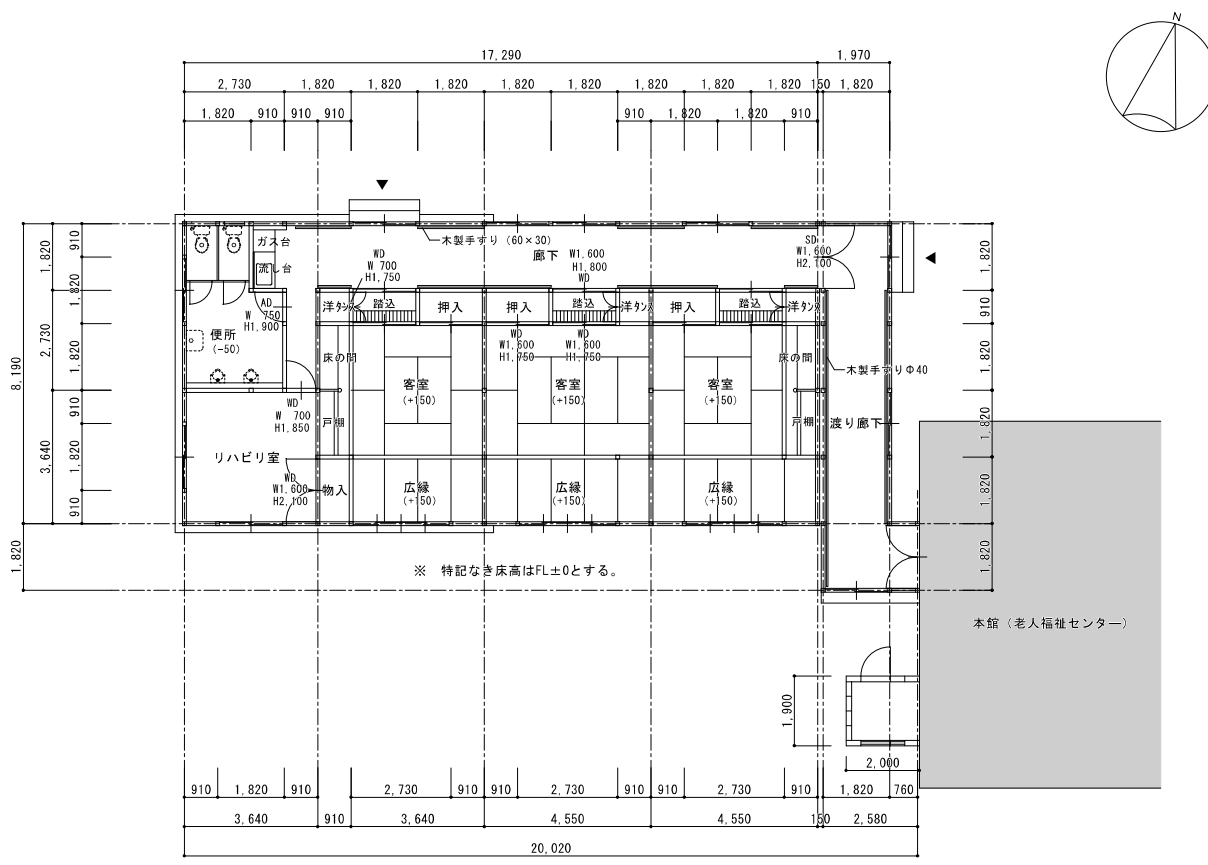
設計名称	令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事		
図面名称	(本館) 東・西立面図		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	年月	R07.11
設計番号		図面番号	K-10
白石市			

外部仕上表							
区分	巾木	壁	軒天	屋根	建具	備考	
宿泊棟	コンクリート下地モルタル仕上	ラスモルタル下地リシン吹付	木平板t9 下地塗装仕上	長尺カラー鉄板 t 0.35瓦葺き	アルミサッシ 建具廻りシーリング	軒樋120×150、整樋φ90、アルミ製窓手すり	
渡り廊下	コンクリート下地モルタル仕上	ラスモルタル下地リシン吹付	折版表し	折版t0.8葺き	アルミサッシ 建具廻りシーリング		

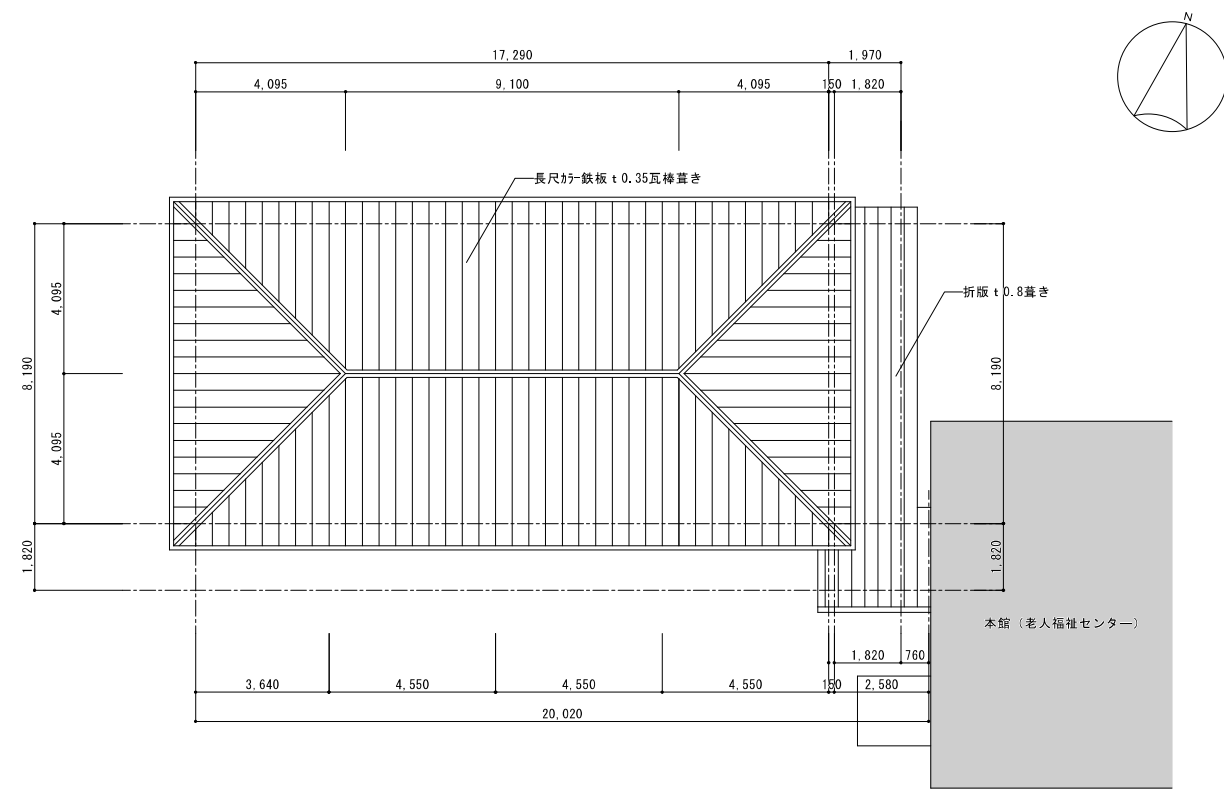
内部仕上表										
室名・部位	床		壁			天井			天井高(CH)	備考
	下地	仕上	巾木	下地	仕上・塗装	廻り縁	下地	仕上		
渡り廊下	デッキプレートコンクリート	カーペットt6	77巾木 H100	LGS W65	スレート板t4 下地塗装仕上	塩ビ	LGS 19型	化粧石膏ボードt9	2.300	木製手すりφ40
廊下	木組下地板張りt12	カーペットt6	木製 H100	木組下地	バルブセメント板t4 下地塗装仕上 一部壁紙仕上 (流し台廻り) 石膏ボード下地タイル張り	---	木組下地	化粧石膏ボードt9	2.300	木製手すり(60×30)、流し台L1,000 ガス台L600、吊戸棚L600
客室	木組下地板張りt12	タタミt60、(踏込)カーペットt6	(踏込)木製H100	木組下地	ラスボードt7下地ジュラク塗り	木製	木組下地	化粧石膏ボードt9(和風)	2.400	床の間、戸棚
広縁	木組下地板張りt12	タタミt60	洋畳寄せ	木組下地	ラスボードt7下地ジュラク塗り	木製	木組下地	石膏ボードt9下地壁紙張り	2.400	
押入	木組下地	しな合板t4	雑巾摺	木組下地	しな合板t4	木製	木組下地	しな合板t4	1.750	中棚
洋ダンス	木組下地	しな合板t4	雑巾摺	木組下地	しな合板t4	木製	木組下地	しな合板t4	1.750	ハンガーパイプ
便所	コンクリート下地モルタル	モザイクタイル	---	木組下地	バルブセメント板t4 下地腰タイル張りH1,500 上部塗装仕上	木製	木組下地	化粧石膏ボードt9	2.600	トイレブース
リハビリ室	木組下地板張りt12	カーペットt6	木製	木組下地	化粧合板t4	木製	木組下地	化粧石膏ボードt9	2.550	
物入	木組下地	しな合板t4	雑巾摺	木組下地	しな合板t4	木製	木組下地	しな合板t4	2.300	棚4段

凡例  
 内の建材は、石綿(アスベスト)含有建材を示す。

01 平面図 A1:1/100 A3:1/200 02 屋根伏図 A1:1/100 A3:1/200



床面積		
宿泊棟	W-1	141.60m <sup>2</sup>
渡り廊下	S-1	20.83m <sup>2</sup>
計		162.43m <sup>2</sup>



設計名称 令和8年度 旧白石市老人福祉センター解体工事  
 図面名称 (宿泊棟) 仕上表・平面図・屋根伏図  
 縮尺 A1:1/100 年月 R07.11 設計番号 図面番号 K-52  
 白石市

